



# あおいだより

みなさん、こんにちは！  
今号は胃ろう栄養についてお伝えしようと思います！



## 胃ろうとは??

胃瘻(いろう)とは、口から食事をとることが困難になった場合に、胃に直接栄養を送るための管をお腹の皮膚を通して挿入する医療処置です。一般的には「PEG（経皮内視鏡的胃瘻造設術）」という方法で行われ、局所麻酔下で内視鏡を使って造設されます。



## 胃ろうのメリット・デメリット



嚥下障害や神経疾患、重度の認知症、がんなどにより経口摂取が難しい患者さんに適用されます。

### メリット

長期的な栄養管理が可能になること、誤嚥性肺炎のリスクが減少すること、患者の体力維持に貢献することなどがあります。

### デメリット

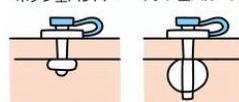
皮膚トラブルや感染症、胃ろう部からの漏れなどの合併症もあり、定期的な管理とケアが重要です。また、延命目的での胃瘻造設に関しては倫理的な議論も多く、患者本人や家族、医療チームでの十分な話し合いが求められます。



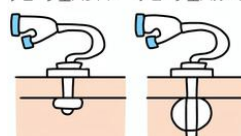
## 胃ろうの種類と交換頻度

- ☑ バンパー型は内側に固定具があり長期使用に適していますが、交換時には内視鏡が必要になることがあります。体外部の形にはボタン型とチューブ型があります。
- ☑ バルーン型は管の先端に風船状のバルーンがあり、簡単に交換できるために在宅医療でよく使われます。  
→ボタン型は目立たず、皮膚との接触部分が少ないため長期使用に適しています。チューブ型は栄養チューブとの接続が楽なため介護者には使いやすいですが、自己抜去されるリスクがあります。

ボタン型バンパー ボタン型バルーン



チューブ型バンパー チューブ型バルーン



交換頻度についてはバルーン型が1～2ヶ月毎、バンパー型は半年毎に交換されることが推奨されています。  
当院では交換頻度の安全面や自己抜去のリスクを考慮し、主にバルーン型のボタンタイプの物を使用しています。

本号は高野医師に教えてもらいました！  
次回もお楽しみに！！

